

財務諸表に対する注記（法人全体用）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物、建物付属設備、構築物、車両運搬具並びに器具及び備品　－　定額法
 - ・有形リース資産、無形リース資産　－　リース期間定額法
- (2) 引当金の計上基準
 - ・賞与引当金　－　職員に対する賞与の支給に備える為、支給見込額のうち当会計年度の費用として計上すべき金額を見積計上している。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

社会福祉施設職員等退職手当共済制度または当法人退職金制度によっている。

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の財務諸表(第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)
- (2) 事業区分別内訳表(第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)
当法人では、収益事業を実施しておらず、公益事業はよし乃郷1拠点において社会福祉事業と一体的に実施されているため作成していない。
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)
- (4) 収益事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)
当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。
- (5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
 - ア よし乃郷拠点（社会福祉事業）
 - └特別養護老人ホーム よし乃郷
 - └老人短期入所事業 よし乃郷
 - └老人通所サービス事業 よし乃郷
 - └老人居宅介護等事業 よし乃郷
 - └老人介護支援センター受託事業 よし乃郷
 - └公益事業 よし乃郷
 - └本部
 - イ よし乃郷馬場館拠点（社会福祉事業）
 - └特別養護老人ホーム よし乃郷馬場館

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	41,748,500	0	0	41,748,500
建物	921,345,439	0	42,321,779	879,023,660
建物付属設備	126,818,622	880,000	11,522,826	116,175,796
基本財産特定預金	2,000,000	0	0	2,000,000
合計	1,091,912,561	880,000	53,844,605	1,038,947,956

7. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	26,748,500 円
建物（基本財産）	430,826,176 円
計	457,574,676 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	108,322,000 円
計	108,322,000 円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	1,798,743,039	919,719,379	879,023,660
建物付属設備(基本財産)	294,610,760	178,434,964	116,175,796
建物	17,380,000	3,264,544	14,115,456
構築物	82,952,389	57,749,561	25,202,828
機械及び装置	15,776,989	2,338,367	13,438,622
車両運搬具	13,577,432	11,949,040	1,628,392
器具備品	275,722,359	237,782,710	37,939,649
有形リース資産	12,650,220	12,513,220	137,000
合計	2,511,413,188	1,423,751,785	1,087,661,403

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	125,975,614	0	125,975,614
未収金	0	0	0
合計	125,975,614	0	125,975,614

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. 合併又は事業の譲渡若しくは譲受けが行われた場合には、その旨及び概要

該当なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

財務諸表に対する注記（よし乃郷拠点区分用）

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物、建物付属設備、構築物、車両運搬具並びに器具及び備品　－　定額法
 - ・有形リース資産、無形リース資産　－　リース期間定額法
- (2) 引当金の計上基準
 - ・賞与引当金　－　職員に対する賞与の支給に備える為、支給見込額のうち当会計年度の費用として計上すべき金額を見積計上している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 法人で採用する退職給付制度

社会福祉施設職員等退職手当共済制度または当法人退職金制度によっている。

4. 拠点が作成する財務諸表等とサービス区分

当拠点区分において作成する財務諸表等は以下のとおりになっている。

- (1) よし乃郷拠点財務諸表(第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(会計基準別紙3(11))
 - ア　特別養護老人ホーム　よし乃郷
 - イ　老人短期入所事業　よし乃郷
 - ウ　老人通所サービス事業　よし乃郷
 - エ　老人居宅介護等事業　よし乃郷
 - オ　老人介護支援センター受託事業　よし乃郷
 - カ　公益事業　よし乃郷
 - キ　本部
- (3) 拠点区分資金収支明細書(会計基準別紙3(10))は省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	424,829,602	0	21,849,571	402,980,031
建物付属設備	47,889,782	880,000	5,000,734	43,769,048
基本財産特定預金	2,000,000	0	0	2,000,000
合計	474,719,384	880,000	26,850,305	448,749,079

6. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	930,070,144	527,090,113	402,980,031
建物付属設備(基本財産)	200,593,326	156,824,278	43,769,048
建物	17,380,000	3,264,544	14,115,456
構築物	58,143,970	33,218,143	24,925,827
機械装置	2,334,200	461,977	1,872,223
車両運搬具	13,577,432	11,949,040	1,628,392
器具備品	176,607,207	157,455,661	19,151,546
有形リース資産	10,357,920	10,220,920	137,000
合計	1,409,064,199	900,484,676	508,579,523

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	66,703,415	0	66,703,415
合計	66,703,415	0	66,703,415

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

財務諸表に対する注記（よし乃郷馬場館拠点区分用）

1. 重要な会計方針

（1）固定資産の減価償却の方法

- ・建物、建物付属設備、構築物、車両運搬具並びに器具及び備品　－　定額法
- ・有形リース資産、無形リース資産　－　リース期間定額法

（2）引当金の計上基準

- ・賞与引当金　－　職員に対する賞与の支給に備える為、支給見込額のうち当会計年度の費用として計上すべき金額を見積計上している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 法人で採用する退職給付制度

社会福祉施設職員等退職手当共済制度または当法人退職金制度によっている。

4. 拠点が作成する財務諸表等とサービス区分

当拠点区分において作成する財務諸表等は以下のとおりになっている。

- （1）よし乃郷馬場館拠点財務諸表（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
- （2）拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3（11））は事業区分が1事業のため省略している。
- （3）拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3（10））は省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	41,748,500	0	0	41,748,500
建物	496,515,837	0	20,472,208	476,043,629
建物付属設備	78,928,840		6,522,092	72,406,748
合計	617,193,177	0	26,994,300	590,198,877

6. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	26,748,500 円
建物（基本財産）	430,826,176 円
計	457,574,676 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	108,322,000 円
計	108,322,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	868,672,895	392,629,266	476,043,629
建物付属設備(基本財産)	94,017,434	21,610,686	72,406,748
機械装置	13,442,789	1,876,390	11,566,399
構築物	24,808,419	24,531,418	277,001
器具備品	99,115,152	80,327,049	18,788,103
有形リース資産	2,292,300	2,292,300	0
合計	1,102,348,989	523,267,109	579,081,880

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	59,272,199	0	59,272,199
合計	59,272,199	0	59,272,199

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし